

## あれもこれもはできない

へえ。福祉に一番お金がかかっているんだ？超高齢社会の中で社会保障が問題になっている、とは聞いていたけど、福祉の中に含まれるよね。

現時点の松阪市では福祉にもうこんなにもお金がかかっているんだね。



福祉にかかるお金は国や県からの特定財源が当てられているものが多いから、市の情報だけ見てもわからないこともあるんだけどね。

税金が福祉に使われる割合はとても高い、ということは少なくともいえるわ。

衛生も教育も消防も...ほとんどのことについてあんまり削ってほしくないって感じちゃうし、借金の返済も削れないお金だよ。なんだかそう考えると、いくらお金があっても足りないって思っちゃう。



本当にそう思うわ。でも、現実問題使われるお金はみんなの税金で、そう簡単に増やせるものではないわよね。借金も借りたら返さなきゃいけないんだから、やみくもに借りるわけにもいかないわ。

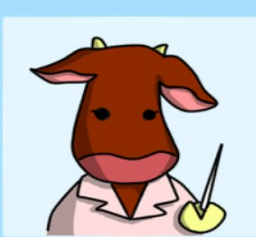
収入に限りがある中で、各分野で削れない経費は何か、何に優先してお金をかけるか、国県支出金などの特定財源はないか、ということは常に考えなければならない問題ね。

市がすべきこと、市民が市にしてほしいこと、いろいろあると思うんだけど、**あれもこれもはできない状況にある**のは分かっているほしい。お金をかけなくてもできることはあるけど、お金がないとできないことも、すごく多いと思うの。

## 借金は計画的に

松阪市って平成24年度までは毎年借金を減らしているんだよね。

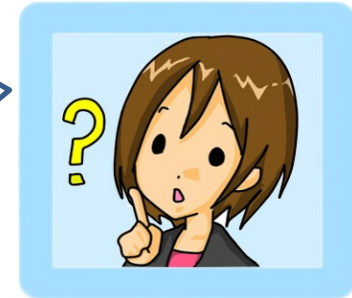
借金がない方がいいとは思うんだけど、さっき言ったような合理的なものならちょっとくらいたくさん借りて、いろんなことしちゃってもいいんじゃない？



確かに合併以降、平成24年度までは借金を減らしているわね。(注:一般会計ベース)

でも、現時点での収支のバランスや借金の状態も大切なんだけど、これから先収入や支出がどうなっていくか、大きな借金をする予定はないか、そういった先々のことも考えていかなくちゃいけないの。

でもそんな先のことなんかわからないし、やっぱり今、便利に快適になってほしいな。そんな風に考えちゃダメなのかな？



そうね。わからないことや、予想が大きくはずれることもあると思うわ。

でも、個人に置き換えて考えてみて。1年後に家を建てる予定があるのに、その出費や住宅ローンの返済を考えず高額なカーローンを組んでしまったら生活や返済が立ち行かなくなるかもしれないわよね。これからの日常生活にかかるだろう費用や大きな出費の予定を考えてローンを組むはずよ。病気にかかったり、お給料が下がってしまったりのリスクもある程度は考えるかな。

市も同じように、これから先きちんと返していけるか、借金の返済が他の経費を圧迫しないか考えながら借金をする必要があるのよ。

## 予算が決まるまで

借金に頼っちゃいけないってことは、基本的には税金を使って市はいろいろなことをしていくわけだよ。限られた収入の中でどうやって割り振りを考えているの？



予算がどう決まるのか、ということね。年度が始まる前に決める**当初予算**と、年度途中で当初予算では見込めなかったことについて増額・減額する**補正予算**があるんだけど、全体のことを決めるのは当初予算のほうね。簡単に流れだけ見ていこう。

あ、補正予算についてはこの前授業で聞いたよ！大きな台風などの災害があったり、国の制度が変わったり、いろいろな要素で最初の予定通りにはなかなか進まないんだってね。



新年度予算の編成を考える時期になると、市長の命を受けて財政担当課から「こういう風に来年度の予算を考えてくださいね」という**方針**が出されるの。

それにしただがって各部署から**要求**が出されて、それを基に**ヒアリング**と呼ばれる事業の内容や金額の妥当性、財源などを確認する作業をするの。きちんと市民に説明ができると思えない部分については削ったり、重要な事業については増額したりもするわね。新しい事業や重要度の高いものは市長も一緒に確認するわ。

そうやって調整されたものを市長が**査定**して、市としての要求が確定したら予算書にして、議会にかけられるの。予算内容についての審議を受けた後、**議会の可決(賛成)**を受けないと**予算は使えない**のよ。

補正予算は必要に応じてされるけど、要求書提出以降の流れは基本的には同じね。

## 財政って…何？

財政学のレポートのために牛美先生にお話を聞いてきたわけなんだけど、結局財政って何なんだろう。



それだけで卒業論文が書けちゃいそうなくらい、難しいテーマね。いろいろと定義の仕方はあると思うけど、参考に松阪市の財政を担当する財務課財政係の仕事を紹介しておこうかしら。

なんだ。正解は教えてくれないのか。でも、それはレポートを書くときにもすごく参考になりそうだね。



まず一番大きな仕事は**予算の調整**ね。どれくらいの収入の見込みがあって、各部署がそれぞれどんな事業をしたいか、しなくちゃいけないかを取りまとめ、資料を作って議会に提出できる状態にするのよ。

次に**決算数値を基にした資料**の作成ね。総務省に提出する資料や、決算議会用の資料を作るの。決算資料については、財政係で作っているのは一部だけなんだけど。

そうそう、予算や決算の数値の想定や、分析もしているわね。

他には**地方交付税を算定するための基礎資料**をとりまとめたり、各種予算や決算に関わる調査に回答したり。

全体として、お金が滞りなく使われていくための仕事や、使われた結果の取りまとめをしているわ。